

地域活性化の観点からの学校跡地・施設の利活用方法アイデアの比較・考察

資料3

施設の用途		観光・タウンプロモーションの分野		自然の分野		農業等の分野		福祉の分野	
		撮影スタジオ ※ 利用エリア	キャンプ場 ※ 利用エリア	自然体験施設 ※ 利用エリア	閉鎖型陸上養殖場 ※ 利用エリア	植物工場 ※ 利用エリア	老人ホーム ※ 利用エリア		
経済・雇用	想定される波及効果	町のPR効果に伴う訪問客、ロケ誘致に伴うキャスト、スタッフ、エキストラによる飲食等での地域消費	・入場者の飲食等による地域消費	・入場者の飲食等による地域消費					・入居者の食事提供に伴う地元食材の利用など
	地域住民の雇用の見込	現地採用（若干名）	現地採用（若干名）	現地採用（若干名）	現地採用（若干名）	現地採用（若干名） 障害者の場合もあり	現地採用（数十人）		
社会・コミュニティ	地域との交流や連携	・地域行事等で施設を開放（業務時間外）	・地域行事等で施設を開放（業務時間外）	・地域住民の持つ知識・技術の積極的活用（農業体験等） ・地域住民の参画を期待 ・町外からの訪問者を増やす。 ・地域住民（大人から子供まで）も参加できる学習コンテンツを提供する。	基本的には、地域との交流や連携はないと考えられるが、次のような事項を実施することにより、交流や連携が図られると考えられる。 ・養殖魚を使った食事の提供	基本的には、地域との交流や連携はないと考えられるが、次のような事項を実施することにより、交流や連携が図られると考えられる。 ・植物工場に関する展示、見学など ・栽培作物を使った食事の提供	基本的には、地域との交流や連携はないと考えられるが、地域医療機関、介護・高齢者関係事業者との連携は図られる。		
	防災	避難所としての開放	可能と考えられる	可能と考えられる	可能と考えられる	不可能と考えられる	不可能と考えられる	不可能と考えられる	
その他	施設の改造	ほぼ現状のまま利用 大幅な改造は無いと考える。		ほぼ現状のまま利用 ただし、浴室、宿泊施設の設置を希望	全体的に大幅な改造が必要	部屋に栽培ロッドの設置が必要。 ただしロッドの導入は比較的容易	全体的に大幅な改造が必要		

施設の用途		職業訓練の分野		国際化の分野		
		ドローンスクール ※ 利用エリア 校舎（教室1～2部屋程度）	ICT技術者訓練施設 ※ 利用エリア	国内留学合宿所 ※ 利用エリア	日本語学校 ※ 利用エリア	準備教育施設 ※ 利用エリア
経済・雇用	想定される波及効果	・講習生の飲食等による地域消費	・講習生の飲食等による地域消費	・外国人講師及び生徒（日本人）の衣食住等による地域消費 ・寄宿生の食事提供に伴う地元食材の利用など	・生徒（外国人留学生）の衣食住等による地域消費	・生徒（外国人留学生）の衣食住等による地域消費
	地域住民の雇用の見込	現地採用（若干名）	現地採用（若干名）	現地採用（10名程度）	現地採用（若干名）	現地採用（若干名）
社会・コミュニティ	地域との交流や連携	・地域行事等で施設を開放（業務時間外）	・地域行事等で施設を開放（業務時間外）	・地域行事等で施設を開放（業務時間外） ・児童・生徒向け英会話講座の実施 ・英語イベント（クリスマス、ハロウィンなど）を通じた外国人講師と地域との交流	・地域行事等で施設を開放（業務時間外） ・地域イベント（運動会など）に参加（各国料理屋台出店など） ・通訳ボランティア ・学校イベントへの地域住民の招待（各国料理コンテストなど）	・地域行事等で施設を開放（業務時間外） ・地域イベント（運動会など）に参加
	防災	避難所としての開放	可能と考えられる	基本的には可能と考えられる ただし、合宿所として利用される部屋は不可能と考えられる	可能と考えられる	可能と考えられる
その他	施設の改造	ほぼ現状のまま利用 大幅な改造は無いと考える。	ほぼ現状のまま利用 大幅な改造は無いと考える。	ほぼ現状のまま利用 ただし、浴室、食堂、宿泊施設の設置を希望	ほぼ現状のまま利用 大幅な改造は無いと考える。	ほぼ現状のまま利用 大幅な改造は無いと考える。